



Japan Writing Instruments
Manufacturers Association

日本筆記具工業会ニュース

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-30-6
TEL 03-3891-6161 FAX 03-3802-9692

発行：日本筆記具工業会 広報委員会 平成 17 年 1 月 1 日 13 号



工業会一丸となって、さらなる発展と地位向上に努力

新年あけましておめでとうございます。2005 年の幕開けに際しまして一言ご挨拶申し上げます。

昨年の経済情勢はどうであったかと申しますと、03 年秋頃から上向きになってきていた国内の景気も 4 月以降減速し、また少しかげりが見えはじめるようになりました。原因の 1 つは原油価格の高騰で、伴って原材料やエネルギーコストも上がってしまい、民間企業の活力をいっぺんに押さえ込んだ形となりました。さらに、年末になって円高ドル安の懸念が広がり、輸出ウエイトの高い企業にとっては大きなアゲインストとなっています。2005 年の経済も概ねこの延長にある訳ですから、かなりの厳しさを伴っていると言えるでしょう。

文具業界においては、流通の変容がまた一段と進んだように思います。小売店が減少し、カタログやインターネットによる通信販売やホームセンター、100 円ショップなどでの購入が拡大し、本年もこの状況が進行するのではないかと懸念されます。卸も統廃合など再編が行われています。メーカーも中国等製品の脅威にさらされながら必死に将来に向けての方向を模索しているところです。文具業界全体がいま生き残りの道を探し歩もうとしています。

現在、私たちの業界においては安売りが当たり前になっていますが、メーカー、卸、小売ともこのままではどんどん経営体質が弱体化し、共倒れになってしまうおそれがあります。このような厳しい環境の中で生き残っていくためには、まず自社で得意とする部分をもっと特化させ他社と大きく差別化することが重要です。そしてメーカーではさらに、消費者により高い満足を与えられる高機能、高付加価値の商品を開発し、値段が少々高くても買ってもらえるようなマーケティングをしていくことが必要です。また、場合によっては売価の見直しも必要だと思えます。

さて、日本筆記具工業会では筆記具に関する中国の貿易統計を入手していますが、それによると中国のここ 5 年間の輸出金額は年率 50% 増です。輸出単価を円換算しますと、ボールペンが約 5 円、マーキングペンが 3 円強、鉛筆などは 2 円弱という価格です。では、中国の輸入の方はどうかというと、これも年率 36% 増で伸びており、03 年は日本からのボールペン輸入が 72% 増でした。価格差が大きくても品質やデザインなど消費者に満足を与えられるのであれば、中国への輸出も期待がもてることがわかります。大量消費国となりつつある中国に、日本の筆記具を大量販売する時期もそう遠くないものと考えます。

さらに、本年はゲルインキボールペンの日本工業規格(JIS)を新たに制定した上で、これを国際標準化機構(ISO)に提案するという大きな事業も山場を迎えるなど、日本筆記具工業会の国際的活動の場も一層広がってまいります。工業会一丸となって、業界のさらなる発展と地位向上に努力して参りたいと存じます。

本年も倍旧のご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

日本筆記具工業会 会長 西村貞一

講演会、懇親会で結束を新たにしました。

平成 16 年 12 月 7 日 午後 5 時より、上野精養軒にて。



日本筆記具工業会は 12 月 7 日(火)、上野精養軒で講演会を開催しました。講師には、「サンデーモーニング」(TBS 系)のコメンテーターとして活躍中の大沢啓二元日本ハム監督をお招きしました。大沢元監督は、半世紀のプロ野球史の中で 725 勝と輝かしい記録を残し、野球界の大先輩として尊敬を集めておられるばかりでなく、「美しいキモノ・ベストドレッサー賞」(アセット婦人画報社主催)を受賞されるなど、多彩な活躍でつねに新鮮な話題を私たちに提供していただきます。当日、講演会場は満席に。大沢元監督の人気の程がよくうかがえました。

当日のテーマは「人間賢いだけじゃだめだ」。ご自身の少年時代、大学時代、そして選手・監督時代のエピソードと、それらを通じて深められた幅広い交友関係をユーモアたっぷりに披露されながら、正直で誠実な生き方の大切さをご指導くださいました。講演の後、大沢元監督を中央に全員で記念撮影を行い、2004 年を華やかに締めくくりました。

会場を移して、懇親会を開催しました。来賓に(財)日本文化用品安全試験所様、(社)全日本文具協会様をお迎えし、多数の文具専門紙誌様を加え、総勢約 90 名が集いました。小川洋平筆頭副会長の開会挨拶に続き、西村貞一会長の挨拶、そして石川真一副会長の乾杯の音頭で開会。文字通り、懇親を深めた 2 時間でした。

<委員会・部会報告> 平成 16 年 10 月～12 月

流通委員会 (委員長：堀江圭馬副会長) 12/22

平成 16 年度流通委員会活動報告について。

- ・消費税の総額表示について。
- ・カタログ協賛実態調査について。
- ・お客様相談窓口連絡会の活動報告について。グリーン購入法の適合に関するカタログ等の表示について。「○ 年 月閣議決定グリーン購入法基本方針の判断基準による。」(例)の表示が求められている。

新 J I S マーク制度の概要について。

17 年度流通委員会活動計画について。他個人情報保護法のメーカー対応について。

<お客様相談窓口連絡会> (神田勇部会長)11/26

○お客様相談対応の情報交換

- ・お客様からの化学物質含有情報の開示依頼が増えている他の報告。

○お客様対応事例集について継続審議。

調査研究・広報委員会 (委員長：石川真一副会長)

○ホームページの充実について。 12/3

- 本工業会ホームページの「お役立ち情報」にボールペンの知識を追加掲載することを決定した。内容は、・ボールペンのしくみ、・ボールペン書くときあれこれ、・ボールペンの取り扱い、・ボールペンのインキについて。

現在の掲載している「油性、水性ボールペン・中しん各社互換性調査結果一覧表」に加えて、流通とユーザーへの情報サービスを充実させる。

技術委員会(委員長:数原英一郎副会長) 11/22

<鉛筆部会・シャープ部会合同部会>

○JIS S 6006「鉛筆、色鉛筆及びそれらに用いるしん」および JIS S 6005「シャープペンシル用しん」改正について。

・原案作成期間を 17 年 8 月 1 日～18 年 7 月 31 日の予定で、改正作業を行うべく日本規格協会に申請した。また、現在当該両 JIS に規定しているケント紙の選定経緯について説明がなされた。

・鉛筆濃度測定器(新レコード式画線機)=日本鉛筆工業協同組合開発=は、ケント紙に限らず、汎用紙での評価も可能であることから、紙に関する調査を行うべく「小委員会」を鉛筆部会・シャープ部会の合同部会内に設置することで合意した。同小委の委員長は加藤善三郎氏(トンボ鉛筆)、委員構成は芯製造の 6 社(パイロット、ぺんてる、千年、オリエンタル、トンボ鉛筆、三菱鉛筆)と(財)日本文化用品安全試験所、並びに参加希望メーカーとすることで一致した。

<知的財産部会> 11/19

本工業会と(社)全日本文具協会は、11 月 19 日、「玩具・時計・文具 3 団体知的財産交流会」を日本文化用品安全試験所会議室で開催した。主な主題は「平成 16 年度特許法等改正」に関して、・実用新案権の存続期間の延長等の実用新案制度の見直し、・職務発明制度の見直し等、平成 17 年 4 月 1 日から施行される改正特許法について学んだ。

本工業会と全文協は、昨年からの知的財産交流会に参加。他業界と知識を交換し合っ、我が国の知的財産権の保護に取り組んでいる。

国際委員会(委員長:小川洋平副会長) 12/20

○平成 16 年度委員会活動状況について

1)欧米の筆記具工業会との連携

・EWIMA 技術委員会(2004.9.22)出席。来る 2005 ペーパーワールド(1/26～1/30)と同時開催される EWIMA 技術委員会にも出席し、引き続きゲルインキボールペンの JIS 規格を ISO へ上程する活動に協力する。

2)海外の模倣品対策に関する活動

・中国見本市における模倣品対策への協力。2005 年 4 月に開催予定の北京文具見本市に知的財産部会を中心とする視察団を派遣するべく、現地筆記具工業団体の「中国制筆協会」等とコンタクトを取る予定。知財部会は視察参加希望者を募っている。

・ペーパーワールド 2005 での模倣問題講演。

3)中国・アジア諸国筆記具協会との国際交流についての調査研究と情報収集について。委員会と東アジア各国工業団体との交流を通じて「日・韓・中 3 極会議」という新たな国際的な枠組みの可能性が報告された。

お知らせ

経済産業省がまとめた「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に関する説明会が、1 月下旬に開催される予定です。決定次第、ご案内します。

<<個人情報保護の必要性>>(参考)

近年、IT 化の進展に伴い、コンピュータやネットワークを利用して大量の個人情報が処理されています。こうした個人情報の取扱いは、今後ますます拡大していくと予想されますが、個人情報は、その性質上いったん誤った取扱いをされるとその個人に取り返しつけない被害を及ぼすおそれがあります。

実際に近時、企業からの顧客情報等の個人情報の流し事故が多発しており、国民のプライバシーに関する不安も高まっています。

また、国際的には、1980 年の OECD(経済協力開発機構)理事会勧告において、「プライバシー保護と個人データの国際流通についてのガイドライン」が示されており、OECD 加盟国の多くが個人情報保護法制を有しています。

こうした状況を踏まえ、誰もが安心して、IT 社会の便益を享受するための制度的基盤として、平成 15 年 5 月に「個人情報の保護に関する法律」が成立しました。この法律における民間の事業者(個人情報取扱事業者)の義務規定は、平成 17 年 4 月 1 日から施行されます。(中小企業だよりより)

鉛筆の製造業、万年筆・シャープペンシル・ペン先の製造業、ボールペン・マーキングペンの製造業に中小企業信用保険法第 2 条第 3 項第 5 号に係る「特定業種」の指定が平成 17 年 3 月末日まで適用されます。「特定業種」に指定されますと、金融機関から借入をする際に信用保証協会の「特例保証」を受けられます。特例保証を含む保険限度額は、普通保険 4 億円、無担保保険 1 億 6 千万円、特別小口保険 2,500 万円です。(お問い合わせは事務局まで)

総会のご案内

『第 4 回通常総会』の日取りが決定しました。17 年 5 月 12 日(木)午後 5 時から、上野精養軒にて。例年の通り、総会終了後に懇親会を実施します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2004年7～9月の出荷・輸入・輸出

繊維・生活用品統計(国内向け販売と輸出向け販売を含む)

(金額はすべて百万円)

出 荷	単位	2004年7-9月度		2003年7-9月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	106,379	6,897	112,208	6,858	-5.2%	0.6%
ボールペン(水性)	千本	183,691	7,781	187,845	8,201	-2.2%	-5.1%
マーキングペン	千本	174,847	9,223	170,867	9,234	2.3%	-0.1%
シャープペンシル	千本	51,967	3,972	52,408	3,972	-0.8%	0.0%
黒しん鉛筆	gross	353,678	945	362,692	1,038	-2.5%	-8.9%
色しん鉛筆	gross	120,460	500	142,350	590	-15.4%	-15.2%
シャープしん	千本	739,425	1,263	850,940	1,404	-13.1%	-10.0%
修正液	千本	11,707	1,046	12,340	1,119	-5.1%	-6.6%
修正テープ	千個	20,783	1,844	21,213	2,058	-2.0%	-10.4%
クレヨン・パス	千本	17,814	235	20,577	261	-13.4%	-9.9%
水彩絵の具	千本	16,414	728	18,238	777	-10.0%	-6.3%
合計金額			34,434		35,511		-3.0%

日本貿易統計

輸 出	単位	2004年月7-9月度		2003年7-9月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン(油性)	千本	52,563	1,928	59,605	2,175	-11.8%	-11.4%
ボールペン(水性)	千本	142,895	5,926	148,247	6,144	-3.6%	-3.5%
マーキングペン	千本	79,815	3,364	71,851	3,129	11.1%	7.5%
シャープペンシル	千本	34,225	1,760	35,975	1,835	-4.9%	-4.1%
万年筆	千本	1,916	211	1,013	207	89.1%	1.9%
製図用ペン	本	24,390	1,320	0	0		
以上のセット品	千本	185	33	210	31	-11.8%	7.1%
黒しん鉛筆	gross	28,848	63	34,534	72	-16.5%	-12.3%
色しん鉛筆	gross	8,449	24	8,637	34	-2.2%	-28.6%
ボールペン用中芯	千本	45,892	618	46,991	667	-2.3%	-7.3%
マーキングペン用ペン先・ゴブポイント	千本	964,774	1,613	874,545	1,505	10.3%	7.1%
シャープ部品・付属品	Kg	40,530	219	45,482	236	-10.9%	-7.3%
万年筆・ボールペンの部分品	Kg	379,668	1,018	418,342	1,156	-9.2%	-11.9%
シャープしん(鉛筆しん含む)	Kg	87,915	486	112,179	647	-21.6%	-24.9%
クレヨン・パス	Kg	36,441	84	52,115	95	-30.1%	-11.8%
合計金額			18,667		17,933		4.1%

日本貿易統計

輸 入	単位	2004年7-9月度		2003年7-9月度		前年同期変動率	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
ボールペン	千本	51,365	1,480	47,800	1,374	7.5%	7.7%
マーキングペン	千本	44,494	711	44,124	684	0.8%	3.9%
シャープペンシル	千本	8,951	247	8,150	210	9.8%	17.5%
万年筆	千本	98	323	201	189	-51.2%	70.7%
製図用ペン	本	4,953	3,313	0	0		
セット品	千本	708	37	741	42	-4.4%	-12.7%
黒しん鉛筆	Kg	103,171	89	123,732	101	-16.6%	-11.7%
色しん鉛筆	Kg	272,102	210	262,683	192	3.6%	9.3%
ボールペン用中しん	千本	7,649	58	10,456	81	-26.8%	-28.5%
ペン先及びゴブポイント	千本	35,234	114	25,933	87	35.9%	31.1%
ボールペン又はシャープの部品・付属品	Kg	211,604	494	196,879	429	7.5%	15.1%
ペン軸、その他の部分品	Kg	40,993	54	44,896	87	-8.7%	-37.9%
しん	Kg	90,125	79	66,693	95	35.1%	-17.0%
パステル・チョーク	Kg	270,015	108	260,459	119	3.7%	-9.4%
合計金額			7,317		3,691		98.2%